

はじめるネット

2021年2月 (令和3年) 通算第14号

●葛城市議会議員

吉村 始

はじめ

質



★本紙は、ご支援下さる方々と家族とで手配りしています。最新号やバックナンバーは、ウェブ版でご覧いただけます。

バックナンバーはこちら▶

<https://www.hajimerunet.com>

発行 吉村はじめと始める会

〒639-2101 奈良県葛城市疋田379 電話&FAX 0745-69-7590

生活の不安軽減が行政の役割

■いま困っている人に届く言葉を

「たたかうべき相手は人ではなくウイルス。感染症への正しい理解と思いやりの心で乗り越えよう」。市内の教育現場などで、コロナ禍の不安から生まれる差別を断ち切ろうと、繰り返されている言葉です。

葛城市は昨年4月にいち早く「新型コロナウイルス対策室」を設置。保健福祉などの現場では連日連夜、感染予防や生活困窮者の支援などにあたっています。1月末現在、市内ではクラスターが発生していません。市民の皆様の感染予防の実践をはじめ医療従事者や介護施設職員、市職員の皆様や学校・園の先生方などのご尽力のおかげです。

阿古市長からも防災無線での情報発信がありました。市長自らが言葉を発することには意義があります。それに加えて、私は、いま生活に困っている方や相談できずに悩んでいる方にこそ、市民に近い行政が言葉を届けるべきと考えます。防災無線では、感染予防の協力依頼だけでなく、市民の命を守るために市がやっている施策は何か、困ったときはどこに聞きに行けばよいのかなどの具体的なメッセージを求めます。



作成：葛城市人権政策課・
葛城市人権教育推進協議会

困ったときはこちらへ
新型コロナウイルス対策室
☎0745-44-8107

12月議会 一般質問



安心な事業者の情報を

悪質訪問業者の被害から守るために「行政が事業者の紹介を」という市民の声をいただきました。

市内には「葛城市建築組合」と、市が指定している上下水道の地元事業者があります。市役所に問い合わせれば、事業者名を教えてください、このことをご存じない方が多いのが実状です。

■はじめ議員の提言

①事業者名を市ホームページにまとめて掲載を

電話での問い合わせへの回答にも便利に。

②インターネットをされない市民への対応を

公共施設や公民館などに一覧表を配布。

「市役所に問い合わせを」と、ポスターや広報などで繰り返し周知を。

全国の女性の年代別自殺者数
(厚生労働省公表／NHK配信)



コロナ下での暮らし 行政の支援体制は？

■「女性不況」と言われるなかで

コロナ下で家に閉じこもることが増えて、DVや児童虐待などが急増。生活困窮に陥った女性も多く、「女性不況」と言われます。葛城市内の相談件数は、2020年4月からの半年間で昨年の約2倍。相談すらできない被害者もおられ、市は相談してもらうための啓発活動を行っています。DVなどの相談には、女性相談員が対応しています。

私は、市の対応を評価したうえで、相談部署が新庄、當麻両庁舎に分かれていることでの日常業務への影響などを^{ただ}質しました。阿古市長は「コロナ下での新しい生活様式の変化などを生かし、さらなる連携強化を図る方策を研究していきたい」と述べました。私は、現場の声に耳を傾けて相談体制の充実に取り組んでほしいと要望しました。



「はじめるネット」次号のお知らせ

来月の3月議会では2021(令和3)年度の予算(案)について話し合います。次号では、この報告を中心にお伝えします。

■はじめ議員の一般質問

■1月にできた「當麻庁舎の危険性排除に伴う機能再編に関する特別委員会」

など

タウンミーティング (市議会報告会)について

4月頃の開催を予定していましたが、コロナ下の状況のためやむを得ず見送ります。開催が決まり次第、本紙でお知らせいたします。

